

# 国の職員・資機材等の緊急搬送

- 施設敷地緊急事態発生 の通報後、あらかじめ定められた100名程度の国の職員を川内オフサイトセンター及び鹿児島県庁等に派遣。併せて必要な資機材の緊急搬送を実施。
- その後、状況に応じて追加要員及び資機材の緊急搬送を実施。

## <具体的な移動及び輸送支援計画>

原子力規制委員会・内閣府  
原子力事故対策本部

国の職員  
必要な資機材

↓ 必要に応じ輸送支援を依頼

緊急輸送関係省庁  
(警察庁、消防庁、国土交通省、  
海上保安庁、防衛省)

輸送支援

オフサイト  
センター等

② 入間基地～鹿児島空港  
輸送機 (自衛隊) 約2時間



① 環境省・内閣府～入間基地  
輸送車両の先導 (警察) 約1時間



③ 鹿児島空港～川内駐屯地  
ヘリ (自衛隊) 約30分



川内オフサイトセンターへの派遣 (警察、自衛隊による輸送支援の一例)  
環境省・内閣府～入間基地～鹿児島空港～川内駐屯地～川内オフサイトセンター

# オフサイトセンターの放射線防護対策・電源対策

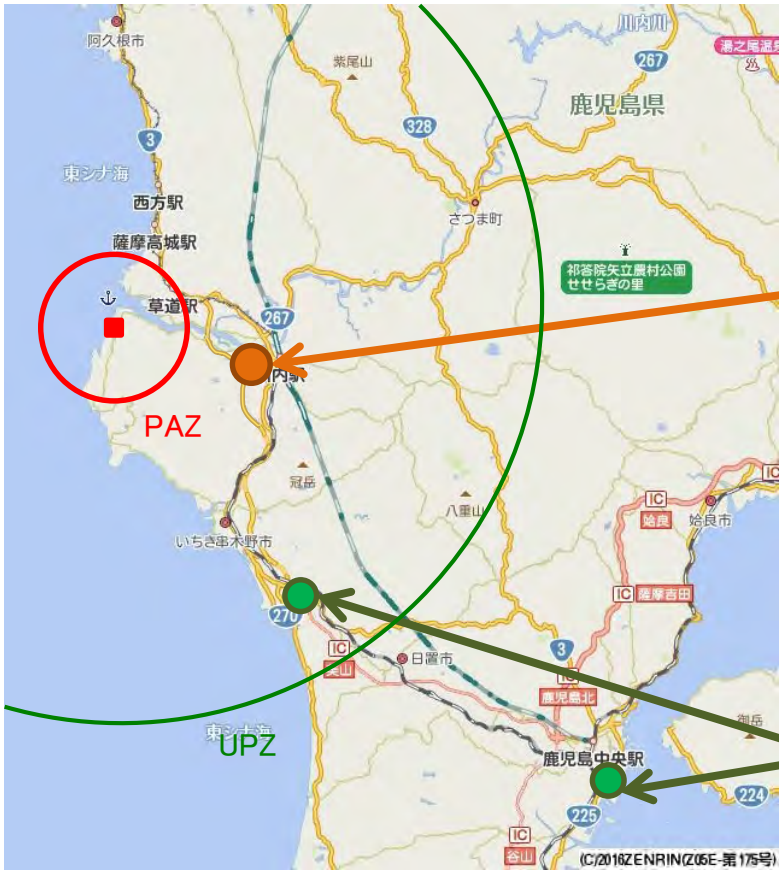
せん だい  
➤ 川内オフサイトセンターは、耐震構造、鉄筋コンクリート造5階建ての構造になっている。

## 【放射線防護対策】

・放射性物質除去フィルター、換気設備、除染設備を整備済み。

## 【電源対策】

- ・無停電電源装置、非常用発電機(3日間運転分の燃料を備蓄)を設置。
- ・非常用発電機の燃料不足時には、九州電力(株)が継続して燃料補給を実施。



仮にオフサイトセンターが機能不全に陥った場合でも、  
代替オフサイトセンターに移動し、対応可能

- 鹿児島県消防学校(日置市): 発電所から約24km  
(放射線防護対策及び非常用発電機(3日間運転分の燃料を備蓄)を設置)
- 鹿児島県庁庁舎(鹿児島市): 発電所から約46km  
(非常用発電機(3日間運転分の燃料を備蓄)を設置)